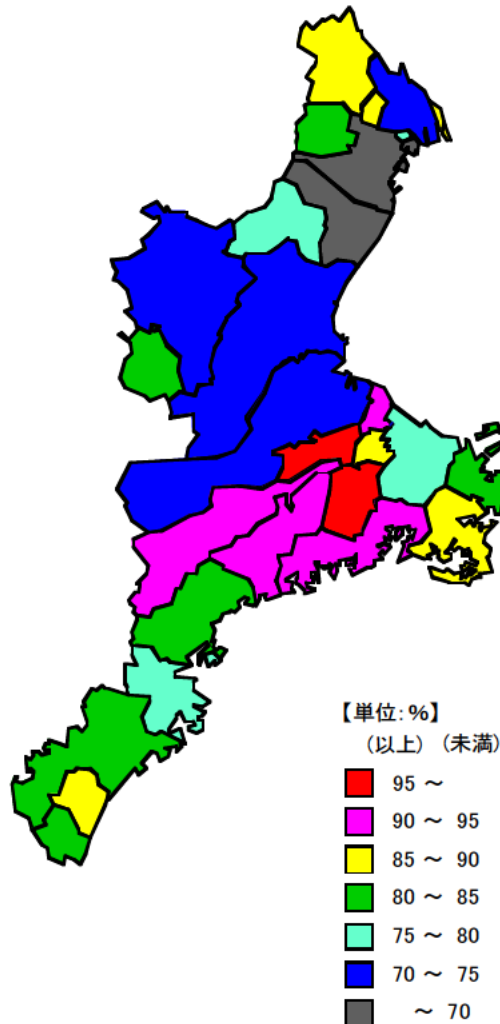


単位：%

市町名	平成17年	順位
多気町	95.2	1
度会町	95.0	2
南伊勢町	94.2	3
大紀町	92.8	4
明和町	91.4	5
大台町	90.3	6
東員町	89.7	7
木曽岬町	88.8	8
御浜町	88.0	9
いなべ市	87.8	10
玉城町	87.0	11
志摩市	85.7	12
紀北町	83.6	13
菰野町	83.4	14
名張市	82.9	15
紀宝町	81.8	16
鳥羽市	80.6	17
熊野市	80.2	18
尾鷲市	76.8	19
亀山市	75.3	20
伊勢市	75.3	21
朝日町	75.2	22
伊賀市	74.5	23
桑名市	73.9	24
松阪市	71.5	25
津市	70.9	26
鈴鹿市	69.6	27
四日市市	69.5	28
川越町	62.0	29
三重県	74.9	
全国	62.1	

●市町別持ち家に住む一般世帯の割合



平成17年の住宅に住む一般世帯のうち持ち家に住む世帯の割合は、県平均で74.9%となっています。

県内市町の中で最も高いのが多気町の95.2%で、次いで度会町の95.0%となっています。

一方、川越町の62.0%が最も低い数値となっています。

全般的に県南部の市町の数値が高い傾向にあります。

【資料出所】

総務省「国勢調査報告」

【算出方法】

持ち家に住む一般世帯÷住宅に住む一般世帯×100

【備考】

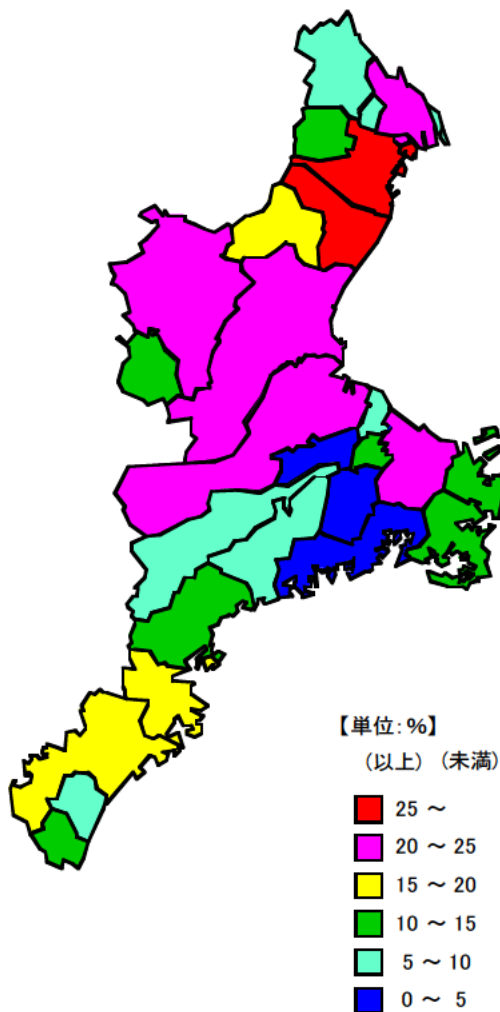
住宅とは一つの世帯が独立して家庭生活を営むことができる持続性のある建物(完全に区画された建物の一部(アパート・長屋など)を含む。)

寄宿舍・寮など生計を共にしない単身者の集まりを居住させる為の建物や病院・学校・旅館・会社などの居住用ではない建物は除かれる。

単位：%

●市町別借家に住む一般世帯の割合

市町名	平成17年	順位
川越町	35.6	1
鈴鹿市	26.6	2
四日市市	26.1	3
松阪市	24.8	4
津市	24.1	5
桑名市	22.5	6
朝日町	21.8	7
伊賀市	21.6	8
伊勢市	21.3	9
亀山市	19.2	10
尾鷲市	18.3	11
熊野市	16.4	12
紀宝町	14.2	13
紀北町	14.1	14
鳥羽市	14.0	15
名張市	13.9	16
菰野町	13.9	17
志摩市	11.4	18
玉城町	10.3	19
木曾岬町	9.6	20
いなべ市	9.3	21
御浜町	9.1	22
大台町	7.2	23
明和町	7.1	24
東員町	6.4	25
大紀町	5.2	26
度会町	4.3	27
南伊勢町	4.2	28
多気町	3.4	29
三重県	21.2	
全国	***	



平成17年の住宅に住む一般世帯のうち借家に住む世帯の割合は、県平均で21.2%となっています。

県内市町の中で最も高いのが川越町の35.6%で、次いで鈴鹿市の26.6%となっています。

一方、多気町の3.4%が最も低い数値となっています。

多気郡、度会郡の数値が特に低くなっています。

【資料出所】

総務省「国勢調査報告」

【算出方法】

借家（社宅等を除く）に住む一般世帯 / 住宅に住む一般世帯 × 100

【備考】

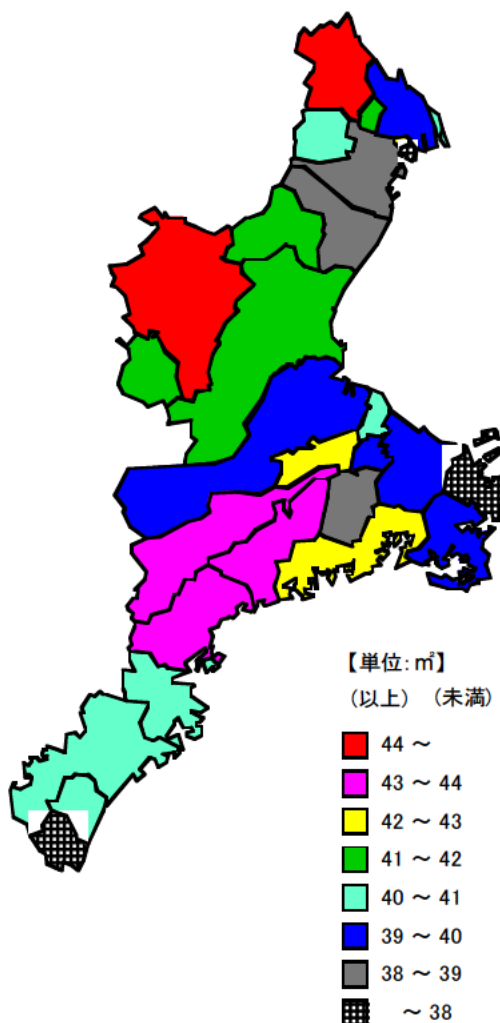
住宅とは一つの世帯が独立して家庭生活を営むことができる永続性のある建物（完全に区画された建物の一部（アパート・長屋など）を含む。）

寄宿舎・寮など生計を共にしない単身者の集まりを居住させる為の建物や病院・学校・旅館・会社などの居住用ではない建物は除かれる。

単位：㎡

● 市町別1人当たり住宅延べ面積

市町名	平成17年	順位
いなべ市	46.0	1
伊賀市	44.3	2
大紀町	43.8	3
紀北町	43.4	4
大台町	43.4	5
多気町	42.7	6
南伊勢町	42.5	7
朝日町	42.3	8
名張市	41.9	9
東員町	41.7	10
津市	41.2	11
亀山市	41.2	12
尾鷲市	40.7	13
熊野市	40.7	13
明和町	40.7	13
菰野町	40.6	16
木曾岬町	40.2	17
御浜町	40.1	18
玉城町	39.7	19
桑名市	39.6	20
志摩市	39.4	21
松阪市	39.3	22
伊勢市	39.0	23
四日市市	38.3	24
度会町	38.3	24
鈴鹿市	38.0	26
紀宝町	37.6	27
川越町	37.4	28
鳥羽市	36.5	29
三重県	40.1	
全国	***	



平成17年の市町別1人当たり住宅延べ面積は、いなべ市が46.0㎡で最大となっており、次いで伊賀市の44.3㎡となっています。

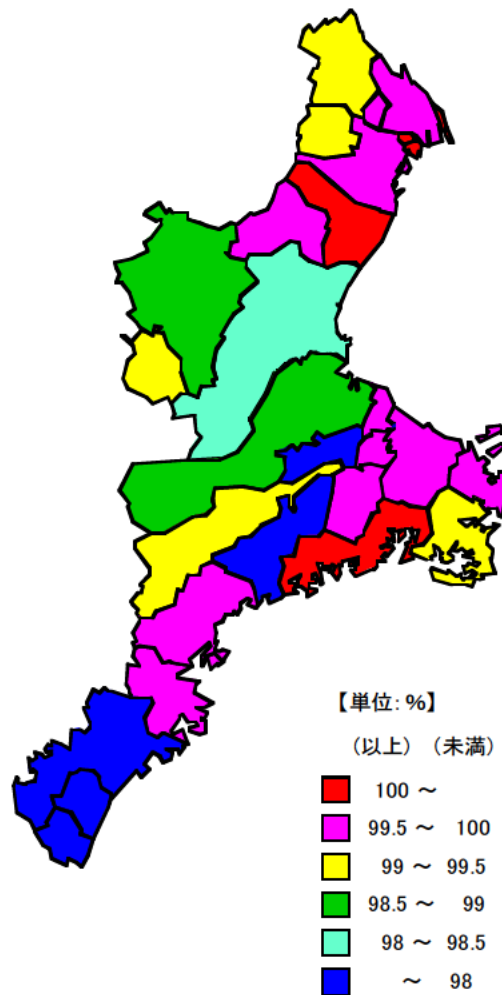
また、最小は鳥羽市の36.5㎡です。

【資料出所】
総務省「国勢調査報告」

● 市町別水道普及率

単位：%

市町名	平成19年度	順位
鈴鹿市	100.0	1
木曾岬町	100.0	1
朝日町	100.0	1
川越町	100.0	1
南伊勢町	100.0	1
桑名市	99.9	6
亀山市	99.9	6
明和町	99.9	6
紀北町	99.9	6
四日市市	99.8	10
尾鷲市	99.8	10
玉城町	99.8	10
度会町	99.8	10
伊勢市	99.7	14
鳥羽市	99.7	14
東員町	99.5	16
いなべ市	99.4	17
菰野町	99.4	17
志摩市	99.1	19
名張市	99.0	20
大台町	99.0	20
松阪市	98.9	22
伊賀市	98.5	23
津市	98.4	24
多気町	96.9	25
大紀町	96.6	26
御浜町	96.0	27
熊野市	95.1	28
紀宝町	90.8	29
三重県	99.2	
全国	***	



平成19年度の水道普及率の県平均は、99.2%となっています。

県内市町の中で、鈴鹿市、木曾岬町、朝日町、川越町、南伊勢町の1市4町が100%の普及率となっています。

最も低い紀宝町でも90.8%と90%を超えています。また上位21の市町で、99.0%以上の普及率となっています。

【資料出所】

三重県政策部統計室「三重県統計書」
水道普及状況(市町村)

【調査または報告書】

県環境森林部水質改善室調べ

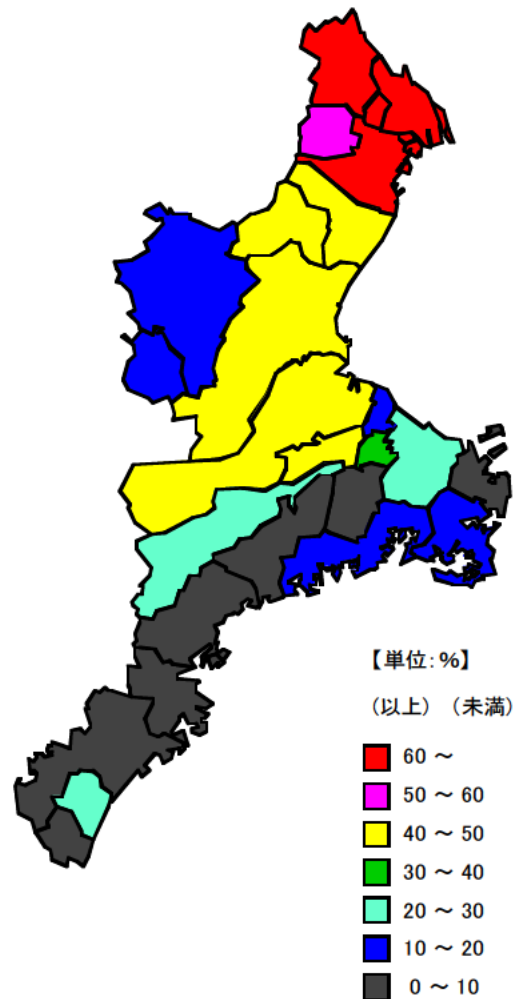
【算出方法】

現在給水人口 ÷ 行政区域人口 × 100

単位：%

市町名	平成20年度	順位
川越町	99.9	1
朝日町	98.9	2
東員町	98.7	3
いなべ市	85.4	4
四日市市	70.9	5
桑名市	70.6	6
木曾岬町	64.8	7
菰野町	50.8	8
鈴鹿市	42.9	9
津市	41.1	10
亀山市	41.1	10
多気町	40.5	12
松阪市	40.4	13
玉城町	32.7	14
伊勢市	29.7	15
御浜町	28.0	16
大台町	20.1	17
伊賀市	16.8	18
名張市	15.9	19
南伊勢町	13.4	20
明和町	13.3	21
志摩市	11.6	22
鳥羽市	8.0	23
尾鷲市	0.0	-
熊野市	0.0	-
度会町	0.0	-
大紀町	0.0	-
紀北町	0.0	-
紀宝町	0.0	-
三重県	43.7	
全国	***	

● 市町別下水道の普及率



平成20年度の三重県の下水道普及率は県平均で43.7%となっています。

県内市町の中で普及率の最も高いのは川越町の99.9%で、次いで朝日町の98.9%となっています。

尾鷲市、熊野市、度会町、大紀町、紀北町、紀宝町では、まだ下水道の供用がされていません。

【資料出所】

県県土整備部下水道室「みえの下水道」

【算出方法】

下水道処理区内人口 / 住民基本台帳人口 × 100

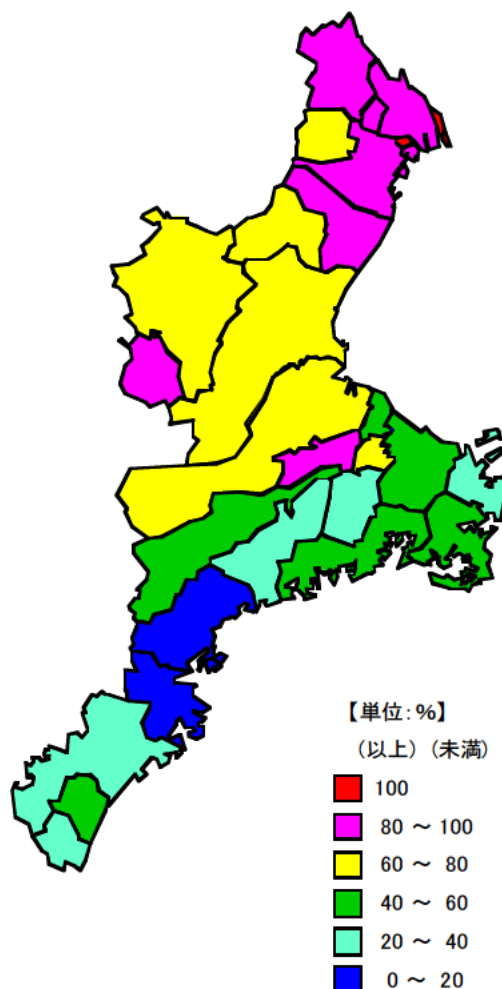
【備考】

ここでいう下水道普及率とは、下水道の処理区域内人口の率であり、実際の利用率とは異なる。

単位：%

● 市町別生活排水処理施設の整備率

市町名	平成20年度	順位
木曾岬町	100.0	1
朝日町	100.0	1
川越町	99.9	3
東員町	99.4	4
いなべ市	99.1	5
名張市	92.1	6
四日市市	90.7	7
桑名市	90.6	8
鈴鹿市	86.4	9
多気町	84.3	10
菰野町	79.3	11
亀山市	76.9	12
津市	76.7	13
玉城町	72.1	14
松阪市	69.6	15
伊賀市	65.5	16
大台町	56.8	17
明和町	54.2	18
御浜町	53.8	19
南伊勢町	51.8	20
伊勢市	48.9	21
志摩市	43.8	22
度会町	39.8	23
鳥羽市	33.7	24
大紀町	29.3	25
紀宝町	28.7	26
熊野市	26.0	27
尾鷲市	19.7	28
紀北町	15.5	29
三重県	74.9	
全国	***	



平成20年度の生活排水処理施設整備率の県平均は74.9%となっています。

県内市町の中で最も高いのは木曾岬町、朝日町の100%で、最も低いのは紀北町の15.5%となっています。

御浜町を除いて県南部全般で整備率が低い傾向にあります。

【資料出所】

県政策部統計室「三重県統計書」

【調査または報告書】

県環境森林部水質改善室調べ

【算出方法】

生活排水処理施設整備人口合計 ÷ 行政区域人口(住民基本台帳人口)

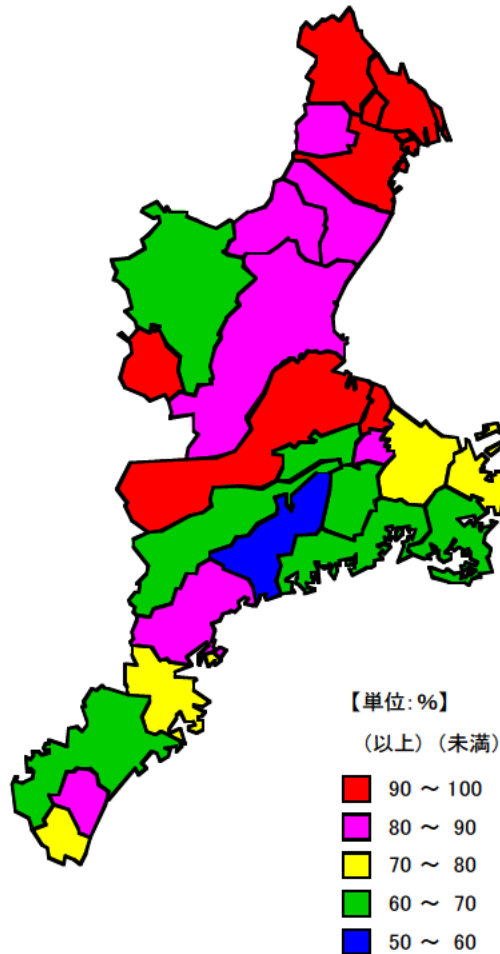
【備考】

生活排水処理施設とは、下水道、農業集落排水等、漁業集落排水、コミュニティプラント、市町村設置型浄化槽、個人設置型浄化槽等の合計。

単位：％

市 町 名	平成19年度	順位
東 員 町	99.6	1
木 曾 岬 町	99.5	2
朝 日 町	97.8	3
名 張 市	97.0	4
松 阪 市	96.4	5
川 越 町	96.0	6
四 日 市 市	93.5	7
桑 名 市	93.4	8
い な べ 市	91.4	9
明 和 町	90.6	10
亀 山 市	88.8	11
紀 北 町	88.6	12
鈴 鹿 市	88.2	13
玉 城 町	85.8	14
津 市	83.9	15
菰 野 町	83.2	16
御 浜 町	80.6	17
尾 鷲 市	79.0	18
伊 勢 市	77.4	19
紀 宝 町	76.4	20
鳥 羽 市	75.9	21
大 台 町	69.0	22
志 摩 市	68.6	23
多 気 町	68.6	23
伊 賀 市	64.3	25
熊 野 市	62.4	26
度 会 町	61.6	27
南 伊 勢 町	60.3	28
大 紀 町	55.7	29
三 重 県	86.1	
全 国	***	

● 市町別水洗化率



平成19年度の水洗化率の県平均は86.1%となっています。

県内市町の中では、東員町が99.6%と最も高く、次いで木曾岬町の99.5%、朝日町の97.8%となっています。

最も低いのは大紀町の55.7%となっています。

北勢地域の市町と、名張市、松阪市、明和町の水洗化が進んでいる傾向がみられます。

【資料出所】

県環境森林部「一般廃棄物処理事業のまとめ」

県政策部統計室「推計人口」

【算出方法】

水洗化人口÷人口×100

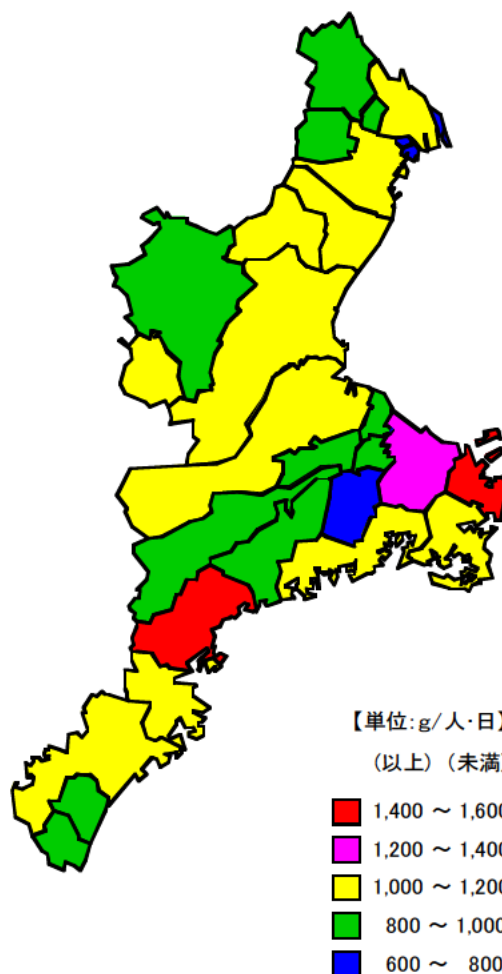
【備考】

ここでいう水洗化とは、下水道・浄化槽等の施設でし尿処理をしていることを指す。

単位：g/人・日

● 市町別ごみ排出量（1日1人当たり）

市町名	平成19年度	順位
鳥羽市	1,596	1
紀北町	1,493	2
伊勢市	1,216	3
尾鷲市	1,193	4
津市	1,186	5
志摩市	1,178	6
四日市市	1,124	7
熊野市	1,123	8
名張市	1,120	9
桑名市	1,086	10
鈴鹿市	1,073	11
亀山市	1,068	12
松阪市	1,066	13
南伊勢町	1,035	14
明和町	998	15
いなべ市	987	16
玉城町	964	17
多気町	934	18
大台町	932	19
菰野町	903	20
紀宝町	894	21
伊賀市	876	22
御浜町	876	23
東員町	848	24
大紀町	818	25
木曽岬町	787	26
度会町	774	27
川越町	714	28
朝日町	692	29
三重県	1,093	
全国	***	



平成19年度の三重県の1人1日当たりごみ排出量は1,093gとなっています。

県内市町の中では、鳥羽市が1,596gと最も多く、朝日町が692gと最も少なくなっています。

【資料出所】

県環境森林部ごみゼロ推進室
「一般廃棄物処理業のまとめ」

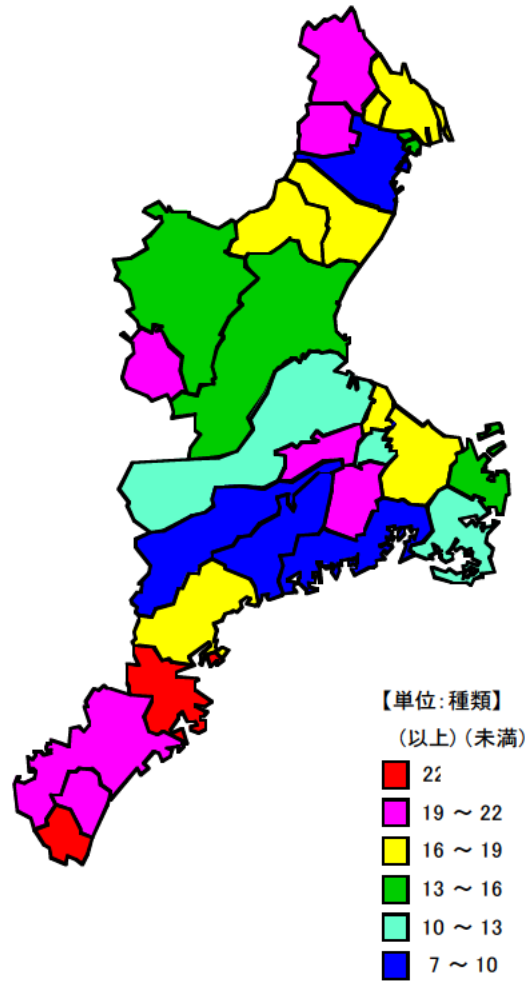
【算出方法】

$[(\text{ごみ(収集)} + \text{粗大ごみ(収集)} + \text{直接搬入} + \text{自家処理})t \times 1,000,000] \div (\text{計画処理区域内人口} \times 365日)$

● 市町別ごみの分類数

単位：種類

市町名	平成19年度	順位
尾鷲市	22	1
紀宝町	22	1
名張市	21	3
度会町	21	3
御浜町	21	3
いなべ市	20	6
菰野町	20	6
多気町	20	6
熊野市	19	9
桑名市	18	10
亀山市	18	10
伊勢市	17	12
木曽岬町	17	12
東員町	17	12
明和町	17	12
鈴鹿市	16	16
紀北町	16	16
鳥羽市	14	18
伊賀市	14	18
津市	13	20
朝日町	13	20
川越町	13	20
松阪市	12	23
志摩市	12	23
玉城町	10	25
四日市市	9	26
南伊勢町	9	26
大台町	7	28
大紀町	7	28
三重県	***	
全国	***	



平成19年度の市町別ごみの分類数は、尾鷲市、紀宝町の22種類が最も多く、大台町、大紀町の7種類が最も少なくなっています。

東紀州地域において、ごみの分類の細分化が進んでいる傾向がみられます。

【資料出所】

県環境森林部「一般廃棄物処理業のまとめ」

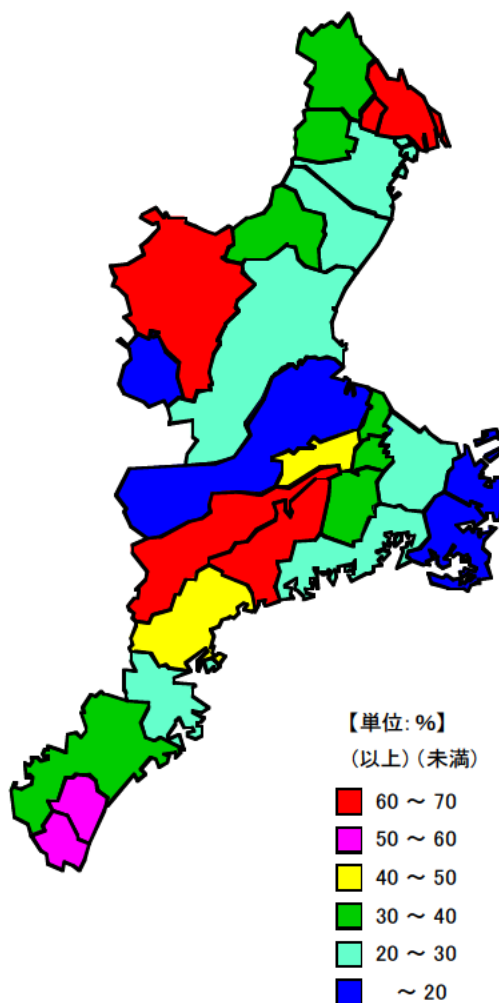
【備考】

合併後、旧市町村で分別の統一がされていない場合は、人口が最も多い旧市町村の分別状況を記載。

単位：%

● 市町別資源化率

市 町 名	平成19年度	順位
大 台 町	69.5	1
木曾岬町	67.0	2
東 員 町	65.3	3
桑 名 市	63.7	4
大 紀 町	62.7	5
伊 賀 市	60.5	6
御 浜 町	58.4	7
紀 宝 町	56.7	8
紀 北 町	44.8	9
多 気 町	40.3	10
亀 山 市	38.4	11
いなべ市	35.3	12
熊 野 市	32.9	13
菰 野 町	32.4	14
度 会 町	32.3	15
玉 城 町	32.2	16
明 和 町	31.5	17
伊 勢 市	28.3	18
川 越 町	28.2	19
津 市	27.8	20
四 日 市 市	27.5	21
朝 日 町	27.4	22
鈴 鹿 市	25.6	23
尾 鷲 市	25.2	24
南 伊 勢 町	21.5	25
志 摩 市	18.9	26
松 阪 市	16.2	27
鳥 羽 市	13.1	28
名 張 市	6.2	29
三 重 県	31.2	
全 国	***	



平成19年度の資源化率の県平均は31.2%となっています。

県内市町の中で最も高いのは大台町の69.5%で、次いで木曾岬町の67.0%となっています。

一方、名張市が6.2%と最も低くなっています。

県全般で郡部の方が、桑名市、伊賀市を除いた市部より高い傾向にあります。

【資料出所】

県環境森林部ごみゼロ推進室調べ

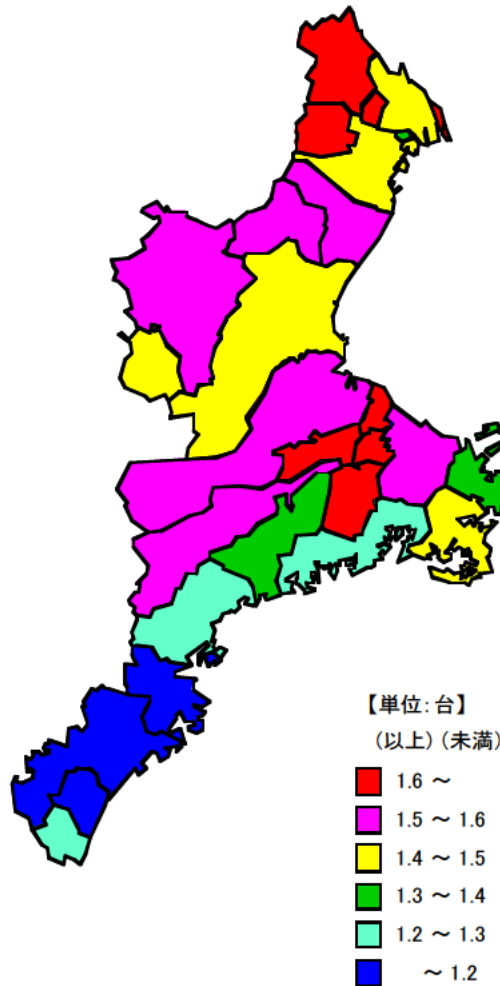
【算出方法】

資源化量合計 ÷ [(ごみ(収集)+粗大ごみ(収集)+直接搬入
+集団回収による資源化) × 100

単位：台

市町名	平成20年度	順位
度会町	2.11	1
木曾岬町	1.89	2
東員町	1.88	3
明和町	1.82	4
玉城町	1.80	5
多気町	1.77	6
菰野町	1.76	7
いなべ市	1.75	8
鈴鹿市	1.59	9
亀山市	1.56	10
伊賀市	1.55	11
松阪市	1.54	12
伊勢市	1.51	13
大台町	1.51	14
四日市市	1.49	15
名張市	1.47	16
津市	1.46	17
志摩市	1.45	18
桑名市	1.43	19
川越町	1.42	20
大紀町	1.38	21
鳥羽市	1.34	22
朝日町	1.31	23
南伊勢町	1.28	24
紀北町	1.25	25
紀宝町	1.24	26
御浜町	1.14	27
尾鷲市	1.10	28
熊野市	1.06	29
三重県	1.51	
全国	***	

● 市町別自家用乗用車保有台数(1世帯当たり)



平成20年度の1世帯当たり自家用乗用車保有台数の県平均は1.51台となっています。
 県内市町の中で最も多い度会町で2.11台、最も少ない熊野市で1.06台となっています。
 統計上は全ての市町において1世帯に1台以上自家用車があることとなります。
 県南部沿海地域が全般的に少ない傾向にあります。

【資料出所】

(社)日本自動車販売協会連合会三重県支部
 「三重県自動車数要覧」
 県政策部統計室「推計人口」

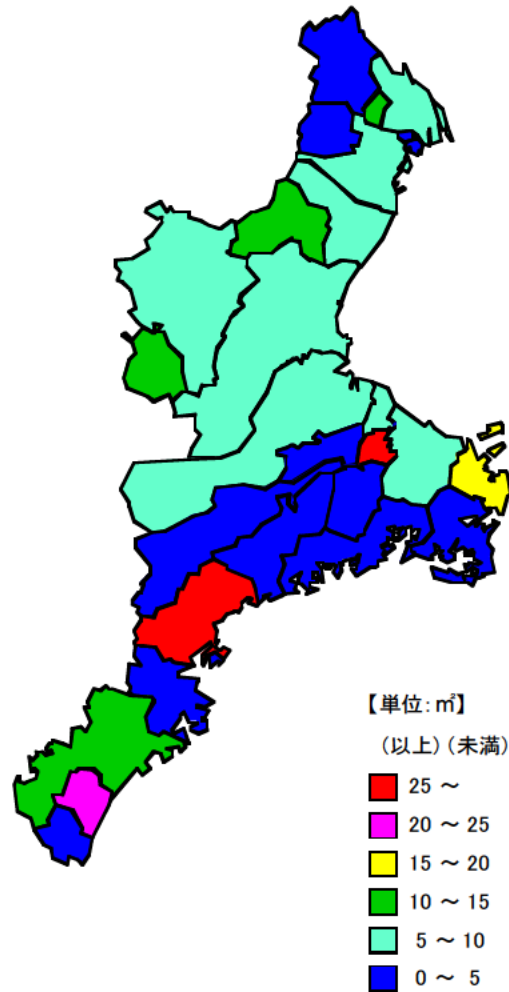
【算出方法】

自家用乗用自動車(普通+小型+軽)÷世帯数

単位：㎡

市 町 名	平成20年	順位
紀 北 町	69.34	1
玉 城 町	25.85	2
御 浜 町	22.38	3
鳥 羽 市	15.50	4
東 員 町	14.87	5
亀 山 市	14.09	6
名 張 市	12.71	7
熊 野 市	11.37	8
木 曾 岬 町	9.84	9
四 日 市 市	9.66	10
伊 勢 市	9.62	11
伊 賀 市	9.33	12
鈴 鹿 市	9.05	13
松 阪 市	8.46	14
明 和 町	7.88	15
津 市	7.35	16
桑 名 市	7.31	17
志 摩 市	4.31	18
尾 鷲 市	4.24	19
菰 野 町	4.21	20
いなべ市	2.41	21
朝 日 町	2.29	22
南伊勢町	1.40	23
川 越 町	0.14	24
多 気 町	-	-
大 台 町	-	-
度 会 町	-	-
大 紀 町	-	-
紀 宝 町	-	-
三 重 県	9.22	
全 国	***	

● 市町別1人当たり都市公園面積



平成20年の市町別の1人当たり都市公園面積は、紀北町が69.34㎡で最大となっています。また、多気町、大台町、度会町、大紀町、紀宝町には都市公園がありません。県平均の都市公園面積は9.22㎡となっています。

【資料出所】

県県土整備部都市政策室「都市公園等現況調査」

【算出方法】

都市公園面積÷都市計画区域人口

【備考】

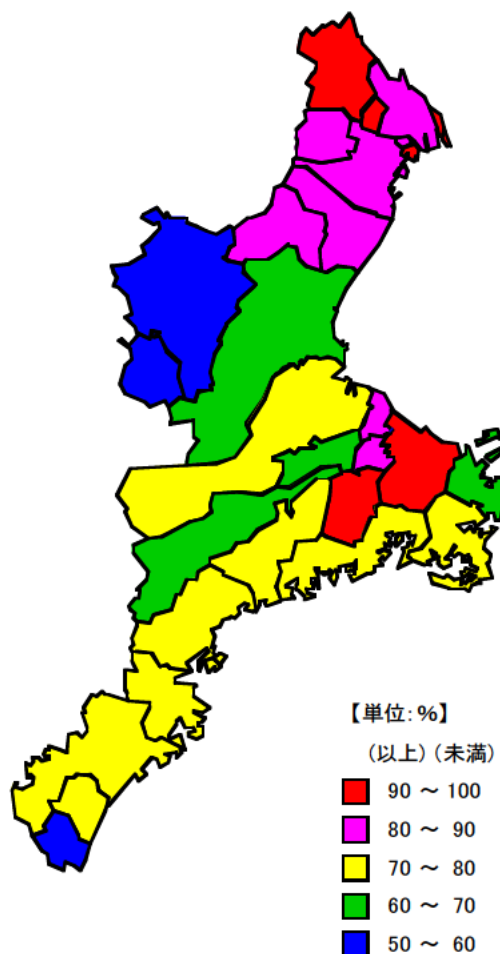
都市公園とは、地方公共団体または国が、都市計画区域において設置する公園または緑地です。

その規模は、いわゆる児童公園のようなものから、複数の市町の区域を越える広大なものまで様々あります。

単位：%

● 市町道の舗装率

市町名	平成17年度	順位
木曾岬町	99.0	1
度会町	96.5	2
東員町	95.9	3
いなべ市	91.8	4
伊勢市	90.4	5
川越町	90.1	6
玉城町	89.8	7
朝日町	88.5	8
桑名市	86.9	9
四日市市	86.8	10
亀山市	85.0	11
鈴鹿市	84.0	12
明和町	83.8	13
菰野町	82.8	14
志摩市	79.6	15
松阪市	79.1	16
大紀町	77.1	17
熊野市	76.3	18
御浜町	75.9	19
紀北町	72.8	20
尾鷲市	70.9	21
南伊勢町	70.2	22
多気町	66.6	23
鳥羽市	66.2	24
津市	65.8	25
大台町	63.5	26
名張市	57.7	27
紀宝町	57.0	28
伊賀市	51.4	29
三重県	75.3	
全国	***	



平成17年度の市町道舗装率の県平均は75.3%となっています。

県内市町の中で最も高いのは木曾岬町の99.0%で、最も低いのは伊賀市の51.4%です。

北勢地域の市町道の舗装率が高いのに対し、伊賀地域全般で市道の舗装率が低い傾向がみられます。

【資料出所】

県政策部市町行財政室「公共施設状況調査」

【算出方法】

舗装された市町道延長÷総市町道実延長×100